

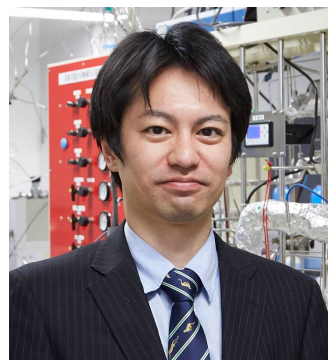
第467回触媒科学研究所コロキウム

ナノ粒子, クラスター, 原子状にサイズ制御した 機能触媒の調製と環境触媒への応用

Preparation of nanoparticles, clusters, and atomically size-
controlled functional catalysts and their application to
environmental catalysis

村山 徹 教授

(北海道大学 触媒科学研究所)



2024/06/07 16:30~17:30

創成科学研究棟 5階 大会議室

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

触媒科学研究所 物質変換部門に着任した新任教授講演会を開催します。

持続可能な社会の実現に向けた触媒研究例を紹介します。金ナノ粒子触媒の開発では、室温でCOを無害化する触媒の開発やその応用研究、反応メカニズム解明の研究。また、担体を精密設計した金シングルアトム触媒の研究を紹介します。窒素循環に貢献する研究においては、物質変換の立場から省エネルギーで効率よく反応を進行させる固体触媒の開発を目的とし、研究を行っています。定置用ボイラーなどの排気ガスに含まれる窒素酸化物(NO_x)を 150°C 以下の低温で無害化する触媒(NH_3 -SCR)の開発、悪臭や大気汚染の原因となる低濃度アンモニアを低温で無害化(NH_3 -SCO)する触媒研究について紹介します。

2010年東京工業大学大学院博士課程修了。2010年北海道大学触媒化学研究センター(現触媒科学研究所)助教。2015年首都大学東京・金の化学研究センター特任准教授、2016年特任教授に昇任。2020年より水素エネルギー社会基盤研究センター(ReHES)に統合。また、2020年より2024年まで煙台大学・金ナノテクノロジー研究センター教授。また、2015年より2024年まで、都立大発のベンチャー企業であるハルタゴールド株式会社の取締役。2024年4月から現職。

問合せ先: 清水研一

共催: 触媒科学計測共同研究拠点, 学際統合物質科学研究機構